

東アジアにおける交流に関するワーキング・グループとりまとめ（案） 骨子
 「東アジアにおける教育、科学技術、文化、スポーツ・青少年交流等の推進について」
 —東アジア、そして世界の一員として活躍できる人材の育成—

- 東アジアを取り巻く環境が変化するなか、「開かれた」日本の実現と東アジア、そして世界の一員として活躍できるヒトづくりが重要。
- 教育、科学技術、文化、スポーツ・青少年等の分野の交流は、ヒトづくりを促し、豊かで開かれた東アジアの実現に寄与。

3つの基本方針に基づく具体的施策を提言

1. 東アジア経済圏で活躍できる人材を共同で育成

- ① 東アジアでの質の保証を伴った大学間交流、双方向型学生交流政策の推進等
 - 質の保証を伴った大学間交流の促進
 - アジアの大学とのネットワークづくり
 - 東アジア共通の教養教育・東アジア地域研究の推進
 - 専門学校への留学支援等
 - 双方向型学生交流政策の推進
 - 留学生等への日本語教育、予備教育、出口戦略
- ② 高校生以下の若い世代の交流施策等の推進
 - 高校生交流（留学、短期交流等）
 - 海外子女教育の促進
 - 教員交流

2. 地域共通課題への対応（東アジアの持続的な経済発展を実現するためのイノベーションの創造）

東アジア・サイエンス&イノベーション・エリア構想（仮称）の推進

- 東アジアにおける研究人材ネットワークの強化、頭脳循環の活性化
- 原子力、宇宙、環境エネルギーなど我が国の技術の展開と人材育成
- 新しい共同研究基金プログラム設立の可能性の探究

3. 相互理解と共同体意識の涵養

- ① 文化交流事業の推進
 - 東アジア域内文化交流プログラムの充実
 - 東アジア文化交流拡大のためのプラットフォーム形成
 - 東アジア共同で取り組む文化プロジェクトの展開（東アジア芸術創造都市（仮称）等）
- ② スポーツ・青少年交流の推進
 - 国際競技大会の招致・開催等
 - 草の根スポーツ交流の推進
 - 世界スカウトジャンボリーの日本開催を契機とした青少年交流の活性化